



令和7年度 安曇野市立 明北小学校グランドデザイン

<学校教育目標>

「あかるく しなやかに 生きる 子ども ～みんなでつくる明北小～」

- ・「あかるく」…元気よく、心も体も健康で過ごせること。
- ・「しなやかに」…柔軟にものごとを考え、困難や失敗をのり越えることができること。

<具体目標>

<学校で伝えたい言葉>

- あいさつのできる子 —「おはようございます」
- かんしゃのできる子 —「ありがとう」
- しあわせな子 —「たのしいね」
- なかのよい子 —「いっしょだとうれいね」

<子どもたちの願う学校>

- ・あいさつや返事をして、気持ちのよい学校
- ・譲り合って、みんなでたくさん遊べる学校
- ・みんなが笑顔で楽しい学校
- ・みんなが過ごしやすい学校
- ・明るく仲のよい学校、助け合う学校

<学校長の願い>

- ・誰とでも「あいさつ」を交わすことで、あかるく気持ちよく学校生活を過ごしてほしい。
- ・いろいろな人たちのおかげで、私たちは安心・安全に学校生活が過ごせていることに感謝できるようになってほしい。「ありがとう」の言葉が響き合う明北小学校になってほしい。
- ・「好き」「楽しい」「なぜ」を追求しながら、心と体、そして自分を取り巻く周りもよい状態で、学校生活を「楽しい」と感じて過ごしてほしい。
- ・学年を超え、全校の誰とでも仲よく「みんなと一緒だと嬉しい」と感じる学校生活を送ってほしい。

「あ・か・し・な」を実現する **小規模特認校 (YOU-COSO)** ようこそ → 今年度スタート、明北小の魅力を発信

- ・「集まる学校」行事や集会など全校で集まる機会の多くある学校。
- ・「環境のよい学校」かんだち山や廃線敷などの周囲の自然豊かな環境、校内のゆとりのある教室環境。
- ・「少人数での学びや体験のできる学校」先生や友達との距離が近く、伸び伸びと学ぶことができる。少人数だからこそ各自に役割があり、体験や学びの機会が多く持てる。
- ・「仲間づくりができる学校」たてわり班の活動をはじめ全校や異学年での活動が多くあり、学年を超えた仲間づくりができる。また明科地域には、北こども園と南こども園、明南小学校、明科中学校、明科高校があり、地域での仲間づくりができる環境がある。

ウェルビーイング実践校 (TOCO-TON) トコートン の取組 (3年計画)

【目標】 (子どもも、教師も、地域も) チャレンジと探究で「ふるさと明科」を心に刻む明科教育

- ・地域に飛び出し、地域とかかわり、子どもたちの「やってみたい」を大切にしながら、先生も子どもたちとやってみたいこと、明科の地が好きになるような取組にチャレンジしていく。
- ・1年目「知ること、ためてみること」 2年目「計画したことをやってみること 進めてみること」 3年目「やったことをまとめること 次につなげること」といったテーマで実践を進める。

<今年度の全校研究テーマ> 子どもの願いをもとにして、「ふるさと明科」をのびのびと探究するために、教師の支援はどうあったらよいか。

<授業づくりで大切にしたいこと> (昨年度の授業研究の成果を生かして)

- ・子どもたちが、今まで学んだ知識を基に、試行錯誤しながら課題の解決をしていく授業づくり
- ・ねらいを明確にした、クラスの子どもたちが学びに向かう「発問」を大切にしたい授業づくり